



2026～27 年度
国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ

Weekly Report Niigata

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary



2026～27 年度
新潟ロータリークラブ会長

坂井 賢一

新潟 RC 7 月第 1 例会 (2026.7.7) No.3609

(1) 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 会長の時間（坂井 賢一会長）

「人と人との絆を大切にし、共に歩む」

皆さま、こんにちは。本年度、新潟ロータリークラブ会長を務めさせていただきます、坂井 賢一です。本多晃幹事、高橋智則副幹事とともに、一年間しっかりと役目を果たしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

新潟クラブの特徴の一つに、ピアノの生演奏があります。今年も濱田道子さんには素敵な演奏をよろしくお願いいたします。

私が今年度のテーマとして掲げたのは、「人と人との絆を大切にし、共に歩む」という言葉です。このテーマには、私自身がここ数年で強く感じた想いを込めました。2020 年からの新型コロナウイルスの流行は、私たちの日常を大きく変えました。例会が開けない。自由に人と会えない。食事を囲みながら語り合うこともできない。当たり前だと思っていたことが、突然失われました。しかし、その経験を通じて改めて気づかされたことがあります。それは、何気ない会話や笑顔での挨拶、同じ時間を共有すること、その一つひとつが、実はかけがえないものだったということです。私は、コロナ禍を経て、「人と人とのつながりこそが、ロータリーの原点なのではないか」と強く感じました。

ロータリーは奉仕の団体です。しかし私は、それ以前に、「人が人を思いやる場所」であると思っています。

人との出会いがあり、学びがあり、励ましがあり、時には支え合いもある。その積み重ねの中で、友情が育まれ、信頼が生まれ、そして奉仕へとつながっていくのだと思います。さて、国際ロータリー2026-2027 年度会長は、南アフリカのオラインカ・ハキーム・ババロラ会長です。そのテーマは、「持続可能なインパクトを生み出そう」です。

オラインカ会長は、「変化は始まりに過ぎない。大切なのは、その後に何が残るか」と語っておられます。

新しいことを始めることも大切です。しかし、本当に大切なのは、その活動が一時的なもので終わるのではなく、地域の中に、人々の心の中に、確かな価値として残っていくことだと思います。それこそが、ロータリーのいう「持続可能なインパクト」なのではないでしょうか。第 2560 地区のガバナーは、雪国魚沼ロータリークラブの富山洋ガバナーです。

「ロータリーで人生をより充実させよう」

という地区方針を掲げられました。ロータリーは単なる奉仕活動の場ではありません。異業種の仲間と語り合い、さまざまな価値観に触れ、地域について考え、そして、自分自身も成長していく。そうした時間が、私たちの人生をより豊かなものにしてくれるのだと思います。

地区の今年度重点項目は、

1. クラブの活性化
2. 会員増強
3. 地区補助金の積極的活用
4. DX の推進（デジタル トランス フォーメーション）

が示されています。

新潟ロータリークラブでも、これらを踏まえながら重点目標を定めました。その第一が、会員増強です。

2024 年度からスタートした「3-year Rolling Goals」は、今年度が最終年度となります。私たちは最終目標である 89 名を目指し、努力してまいります。しかし、私は単に人数を増やすことだけが目的ではないと思っています。

「このクラブに来ると楽しい」

「仲間に会いたくなる」

「また参加したい」

そう思えるクラブでなければ、本当の意味での活性化にはつながりません。そのためにも、会員同士の親睦を大切にしていきたいと思っています。現在 3 つある同好会を、今年度は 6 つまで増やしたいと考えています。

例会以外で交流することによって、人と人との距離は縮まり、クラブの温かさにつながっていくと信じています。

また、ロータリー財団、ポリオプラス、米山記念奨学会への支援も重要な目標です。寄付は決して強制ではありません。しかし、小さな善意の積み重ねが、世界を変える力になることを、ロータリーは示してきました。特にポリオ根絶活動は、その象徴です。ロータリーは長い年月をかけて、世界からポリオをほぼ根絶するところまで歩みを進めてきました。私は、こうした活動こそが、ロータリーの誇りであると思っています。

今年度の具体的な目標として、

- ・会員増強 「89名」
- ・ロータリー財団年次基金 「一人150ドル」
- ・ポリオプラス寄付 「一人30ドル」
- ・米山記念奨学会寄付 「一人20,000円」

を掲げています。

一人ひとりの思いが集まることで、大きな奉仕につながっていくと信じています。

私は一年間、「人と人との絆」を何より大切にしながら、皆さまと共に歩んでいきたいと思っています。会員同士が互いを思いやり、励まし合い、共に成長していく。そんな新潟ロータリークラブを目指したいと思います。 4
どうか、ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげ会長の時間とさせていただきます。

ロータリー財団寄付発表(桜井 広利副委員長)

正力源一郎君 徳永 昭輝君
小林 悟君 内山 博之君
酒井 昌彦君 (ポリオプラス含)

米山奨学会寄付発表(織戸 潔委員長)

酒井 昌彦君 徳永 昭輝君
正力源一郎君 小飯田澄雄君
大杉 一宏君 宮島多佳子君
織戸 潔君

青少年育成基金寄付発表(正力源一郎委員長)

徳永 昭輝君 本間 彊君
酒井 昌彦君 桑原 美樹君
小飯田澄雄君 大杉 一宏君
正力源一郎君

(8) ニコニコボックス紹介(江波 恒夫副委員長)

- ・坂井 賢一君 一年間、よろしくお願いします。
- ・小飯田澄雄君 坂井会長、本多幹事年度を祝してニコニコします。
- ・秋山 博一君 6月30日、納会欠席、申し訳ありませんでした。当日はベ이스ターズ戦の始球式を担当してまして、野球協会の娘さんがアイドルだったので、その子にお願いしました。見事にノーバンで届きました。お父さんは2ヶ月間続いた娘とのキャッチボールが終わり悲しくも嬉しかったそうでニコニコします。
- ・桑原 美樹君 7月11日(土)14:33からUX5チャンネルで「花火に魅せられてミライ」を放送します。ぜひ、ご覧ください。ペコリ、ニコニコ。

(9) 幹事報告(本多 晃幹事)

- ・理事会報告(別紙記載)
- ・ロータリーレートが1ドル162円に変更になりました。

(3) 米山奨学生 王焜伝さんへ奨学金贈呈・挨拶

(4) 100%出席バッチ贈呈

黒田 達也君	1年	正力源一郎君	3年
江越 誠君	4年	高山 克幸君	4年
大桃 典和君	4年	大澤 強君	13年
高橋 秀松君	18年		

(5) 誕生日お祝い贈呈(8名)

(6) 結婚記念日お祝いの紹介(4名)

(7) 各種ご寄付の発表

(10) クラブフォーラム「事業計画の発表」

(敬称略)

- ・広報、会報、雑誌委員会 櫻井 俊晴
(ロータリーの友7月号紹介を含む)
- ・SAA 本間 利夫
- ・クラブ奉仕A担当理事 南雲 俊介
- ・会員増強委員会 佐野由香利
- ・R情報委員会 小山 楯夫
- ・出席・ニコニコBOX委員会 江波 恒夫
- ・米山奨学委員会 織戸 潔
- ・ロータリー財団担当理事 内山 博之
- ・ロータリー財団委員長 宮島多佳子

(11) 7月7日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
75	75	53	70.67%

Zoom参加 2名

7月14日の例会プログラム
「事業計画の発表」

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

7月7日 理事会報告 出席者 13 名

- 1 新会員の推薦＝承認
 - ・日本放送協会新潟放送局 局長 飯島 道彦君
推薦者 正力源一郎君 五十嵐弘幸君
 - ・(株)第四北越銀行 常務執行役員 倉田亮君
推薦者 敦井 栄一君 高橋 秀松君
 - ・野村証券(株) 新潟支店長 峰尾 昌明君
推薦者 宇尾野 隆君 若槻 良宏君
 - ・日本銀行 新潟支店長 吉村研太郎君
推薦者 高山 克幸君 坂井 賢一君
- 2 退会届について＝承認
 - ・日本銀行新潟支店長 平形尚久君 (6/10 付)
 - ・日本放送協会新潟放送局 局長 大竹 岳史君 (6/15 付)
 - ・(株)第四北越銀行常務取締役 廣田徹君 (6/17 付)
- 3 7月の例会プログラム＝承認
7月 7日 事業計画の発表
7月14日 事業計画の発表
7月21日 卓話「小児がん」支援20年。
そして、これからー
認定NPO法人「ハートリンクワーキング
プロジェクト」林三枝副理事長
7月28日 前橋クラブとの合同納涼例会
於 新潟グランドホテル
例会場 3階「朝日の間」
懇親会場 6階屋上「ビアガーデン」
午後5時登録 5時30分開会
- 4 その他
 - ・7月14日 赤塚ガバナー補佐が例会に出席しIMのご案内をします。
 - ・次年度ガバナー補佐が若槻良宏君に決定しました。
 - ・夜例会の案内は従来通り、ハガキにて行います。
 - ・例会での席は、第一例会は委員会ごとになります。第二から第五例会はくじ引きになり、テーブル内で握手タイムを設けます。